

ア歯科診療所

ア歯科 ケア通信

こんにちは！ケア通信34号です！

ア歯科には毎日たくさんの患者さんが定期健診に来院されています。今回は定期健診の時にどんなことを行っているか特集しています。お口の健康を守るためにぜひ定期健診を習慣になさってください。スタッフ一同お待ちしております。

34号のテーマ

- ・ポイントブラシを使ってみよう！
- ・定期健診ってどんなことをしているの？
- ・ご家族の口腔ケアについて

ポイントブラシを使ってみよう！

ポイントブラシ（タフトブラシ）をご存知ですか？ポイントブラシとは、毛束が1つ柄に植毛されている部分磨き用の小さな歯ブラシです。上手に使うコツをご紹介します。



こんなところに使うのがおすすめ！

★歯と歯が重なっているところ



★歯の裏側



★孤立している歯の周囲



★1番後ろの歯の端



★親知らず周辺



★矯正のワイヤー周辺



磨きにくいところに部分的に使うのみでなく、歯と歯ぐきの境目を鏡で確認しながら磨いていくのもおすすめです。1往復ではとれないので数回往復させ歯垢を落としきりましょう。奥を磨くと嘔吐反射が出やすい方もポイントブラシなら楽に磨けます。



ア歯科にあるポイントブラシ

●ピーキュア

毛が細くやわらかい。
毛の長さは長め。
優しく磨きたい方におすすめ。

●プラウト

毛が少し硬めで、しなりにくい。
狙ったところをピンポイントで磨ける。

※ポイントブラシについて更に詳しく知りたい方は歯科衛生士にお気軽にお尋ねください。

定期健診ってどんなことをしているの？

ア歯科では患者さんのお口の状態に合わせて6ヶ月もしくは3ヶ月に一度の定期健診をお勧めしています。歯科医院は痛くなったら行く所というイメージでしたが、現在では予防を第一に考え、痛くなくても定期健診に来院して下さる患者さんが増えました。定期健診ではどのようなことを行なっているのか、それにはどのような意味があるのでしょうか？ア歯科での定期健診の内容をご紹介します。

定期健診の内容

口腔内診査

目に見える範囲でむし歯がないかどうか、歯ぐきの状態やかみ合わせ等を診ています。

歯周ポケット値測定

歯周病の目安となる歯周ポケットの深さを測ったり、歯ぐきからの出血の有無、歯が動いていないかを診ています。

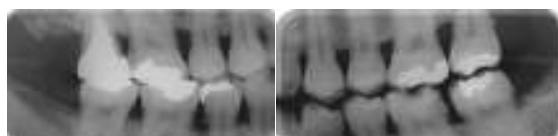


歯周ポケット値の測定

プローブという器具を使い、歯周ポケットの深さを測っています。

レントゲン撮影

目に見えない部分のむし歯の確認、詰め物や被せ骨の状態も診ています。これまでの経過とお口の状態を診てレントゲンを撮る判断をしているので毎回撮るわけではありません。



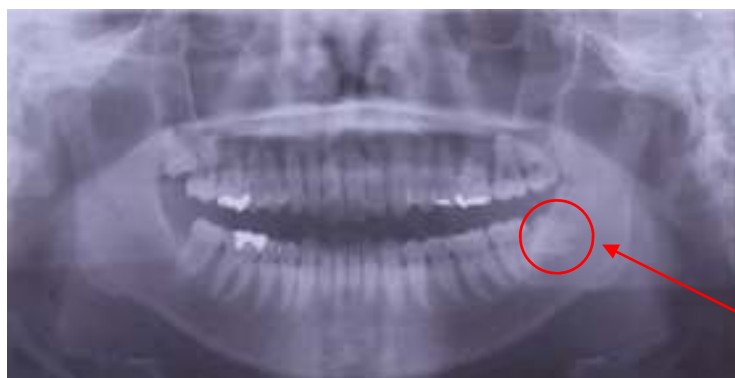
かみ合わせのレントゲン：左右
主に臼歯の歯と歯の間のむし歯の有無や骨の状態を見るのに役立ちます。



部位ごとのレントゲン

1つの歯全体が細かく鮮明に映ります。根元の状態を見るのに役立ちます。

歯周病がかなり進んだ状態の下の前歯



パノラマ（お口全体のレントゲン）

全部の歯の状態を把握できます。埋まっている親知らずの生え方を確認するのにも役立ちます。

このパノラマでは親知らずが横向きにはえているのが分かります。

プラーク（歯垢）の付着状況の確認

プラークの付着している部位をチェックしています。

保健指導

プラークが付着している部位の歯ブラシの当て方や清掃用具の選び方・使い方をお話し、磨く練習をします。生活習慣や食生活について指導させて頂くこともあります。

術者磨き

お持ち頂いた歯ブラシを使って、術者が歯を磨きます。磨くときの力加減や毛先が当たった感触などを体感して頂きます。お口の状態に合わせて省く場合もあります。

歯石除去

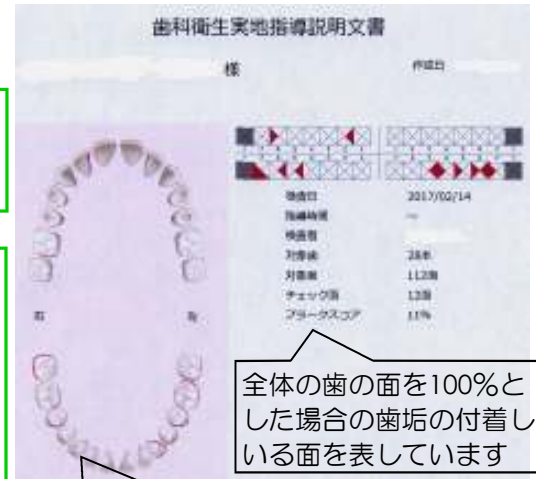
超音波の機器を使って歯石を除去したり、歯ぐきの中を洗浄します。手用の道具を使って細かい歯石を取ることもあります。

PMT C

専用の機器を使って歯の表面を磨きます。歯ブラシでは落としきれないプラークを剥がし取ります。

フッ素塗布

幼児、小児、むし歯になるリスクが高い方にフッ素を塗布しています。知覚過敏がある方にも塗布することがあります。塗布後30分はうがい・飲食を控えて頂きます。



全体の歯の面を100%とした場合の歯垢の付着している面を表しています

歯垢の付着している面を赤いラインで表示しています



超音波の機器



表面を磨く機器



フッ素



定期健診では歯や歯ぐきの細かい検査をして、お口の状態に合わせたお掃除をしています。お口の中を健康に保たれていることが全身の健康にもつながります。定期健診でお口の中の管理をして元気にいきいきとした生活を送りましょう。

